目 次

第31章 芳香族アルデヒドおよびケトン	395
アリールメタンからアルデヒドを得る方法	395
ベンズアルデヒド, 2,6-ジクロルベンズアルデヒド, 他の方法	
ハロゲン化アリールメチルからアルデヒドをうる方法 6	397
直接ホルミル化	398
Gattermann-Koch 合成, Gattermann 合成, N-メチルホルム	
アニリドによるホルミル化	
Reimer-Tiemann 反応	701
サリチルアルデヒド,反応の副産物,正常反応の機構	
多価フェノールのアルデヒド誘導体 7	705
バニリン	
酸およびニトリルからのアルデヒドの合成 7	707
ベンズアルデヒド置換体のその他の合成法 7	² 08
Claisen-Schmidt 縮合, Perkin 反応,アルデヒドとマロン酸との	
縮合,類似の縮合反応,ベンゾイン縮合,アルデヒドの自動酸化	
ケトン	'17
製法	
ケトンの反応	'19
芳香族、ω-置換、縮合反応、ピナコールの生成と転位、オキシム	
の異性化と転位,ケトンからのアミンの合成,Willgerodt 反応	
ベンゾイン――ベンジル系列 7	28
周 題	'30
参考文献	31
第 32 章 キノン類	32
キノン, キンヒドロン	
酸化還元電位	3 3

	製	法	738
	反	応	739
		1,4-付加, エチレンに似た付加, 置換	
	天然	ただであキノン類	750
		ベンゾキノン類,菌類の色素,α-ナフトキノン類,エキノクローム	
		A, ラパコール, ロマチオール, アルカンニンとシコニン, ジュン	
		ニオン, セラストロール	
	参考	交献	762
第	33 貳	5 ナフタリン	763
210		構造	
		· ····· ······························	
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	Ţ=	Bucherer 反応,その他の誘導体,	
	ナフ	タリン誘導体の置換反応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	773
		※料中間体····································	
	, ,	α -ナフチルアミンから、 β -ナフトールから、 β -ナフチルアミンか	•••
		ら, ナフタリン-β-スルホン酸から, ナフタリン-α-スルホン酸の=	
		トロ化	
	ナフ	タリンとベンゼンの相対的な反応性	782
		題	
		·文献······	
	少亏	· 久欣	100
第	34章	6 多核炭化水素	784
	フェ	ナントレン	784
	アン	トラセン	789
	アン	トラキノン	792
		合成法,置換反応 (Substitution reaction),置換反応 (Replace-	
		ment reaction),還元生成物	
	昆虫	染料	801

コチニール―カルミン酸,ケルメス―ケルメス酸,ラック染料―ラッ
カイン酸
lm (線状)-多核炭化水素
ルブレン, ペンタセン―ヘプタセン
角構造を有する炭化水素 807
クリセン, 1,2-ベンズアントラセン
縮合環炭化水素
ピレン, ペリレン, コロネン
縮合環炭化水素······ 815
発癌性と構造,化学反応性との関係,合成法
参考文献
第 35 章 複素環式化合物 828
五員複素環
フラン,ピロールおよびチオフェンの製法, 反応, 共鳴安定化, 他の型
六員複素環835
ピリジン,キノリンとイソキノリン,その他の複素環
アルカロイド
分解方法, 合成, 合成代用品
複素環式酸素を持った色素
アントシアニン,フラボン類,各種色素
参考文献······· 865
⊘ 与文献····································
第 36 章 染 料 866
色と構造
染料の使用
建染め,媒染,直接染料,繊維上での染料の生成,ナッセン法,
トリアリールアミン,トリアリールメタンおよびメチン型の塩基
性染料
T

ン染料,関連したメチン染料
アントラキノン系およびインジゴ系染料
合成アリザリン,ポリオキシアントラキノン類,羊毛および疎水性
繊維用のアントラキノン染料,合成インジゴ,チリアン・パープル,
その他のインジゴ系染料,インダンスロン,フラバンスロン,ベンゾ
アントロン染料,アルゴール染料,カルバゾール型,アクリドン染
料,ジアルキル・ジピラゾールアントロン類,ジチアゾルアントラ
キノン染料,アンタントロン染料,ジベンズピレンキノン類,テト
ラカルボキシイミド染料
硫化染料913
アゾ染料 915
酸性および塩基性アゾ染料,直接アゾ染料,イングレインまたは顕
色アゾ染料,クロム染料,疎水性繊維の染料
顔 料926
フタロシアニン類
問 題 928
参考文献929
937章 合成繊維
ニトロセルロース法,銅アンモニア法,ビスコース法,アセテート
法,タンパク質からの繊維,ナイロン,ポリエステル繊維,ビニヨ
ン,サラン,オーロン繊維,ダイネル,ポリエチレン
参考文献
育38章 合成プラスチックと合成樹脂
ニトロセルロースプラスチック, アセチルセルロース, セルロース
混合エステル, セルロース・エーテル, カゼイン・プラスチック,
ポリテトラフルオルエチレン,フェノールホルムアルデヒド樹脂,
イオン交換樹脂, 尿素ホルムアルデヒド樹脂, メラミン-ホルムア
ルデヒド樹脂 アルキド樹脂 ビニル樹脂 ポリスチレン アクリ

		ロイド・プラスチック,変性ロジン,有機ケイ素重合体
	問	題
	参考	文献963
第	39 章	至 ステロイド 965
		ステリン,胆汁酸
	性は	:ルモン 971
		エストロゲン,アンドロゲン,尿中のアンドロゲン部分の検定,プロ
		ゲステロン
	副腎	『皮質ホルモン
		顕著な化学的性質
	その	他のステロイド・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		強心グリコシド, サポニンとサボゲニン, アルカロイド
	参考	5文献995
第	40 1	5 イソプレン系化合物 996
	テル	ペン類とショウノウ類 996
		確認,テレビン油,ショウノウ,香料
	C ₁₅ -	-イソプレン化合物1005
	C_{20}	-イソプレン化合物1008
		ジテルペン類,樹脂酸,フィトール
	トリ	テルベン誘導体1010
		スクァレン,トリテルペン系・サポニンとサポゲニン
	カロ	チノイド1011
		カロチンの構造,リコピン,ピタミンA,クロシンとクロセチン
	参考	女献1018
第	41 重	章 補助栄養因子1019
		チアミン,リボフラピン,ピリドキシン,ニコチン酸,プテロイン
		酸因子, ビタミンB12, パントテン酸, ビオチン, ビタミンD, ト

コフェロール類,ピタミンK,オーキシン
参考文献1045
第 42 章 化学療法の進歩1046
有機ヒ素剤,ゲルマニン,アメーバを殺す薬剤,抗マラリア剤,ス
ルファ剤,微生物の産する抗菌性物質
参考文献1063
あとがき1065
a) C 11+6
索 引1~18

